

経営比較分析表（令和3年度決算）

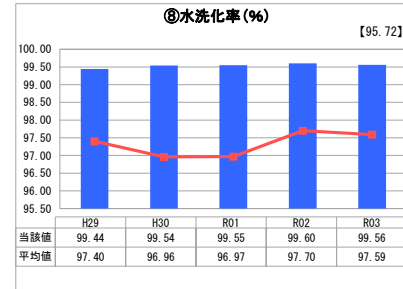
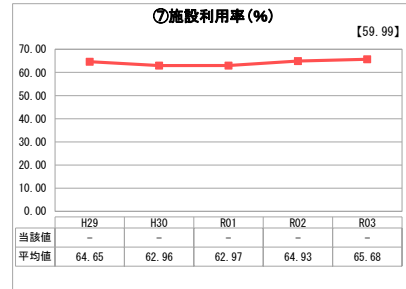
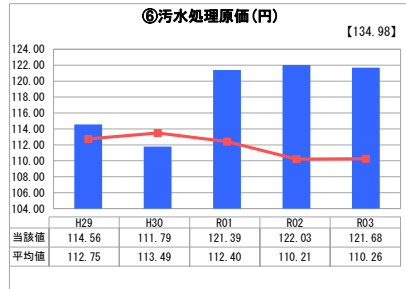
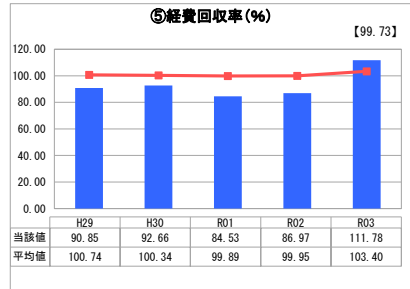
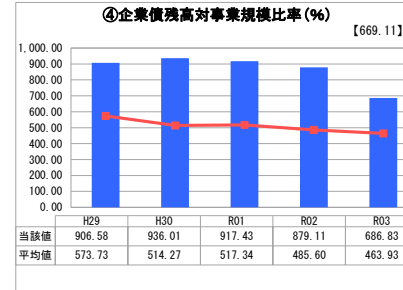
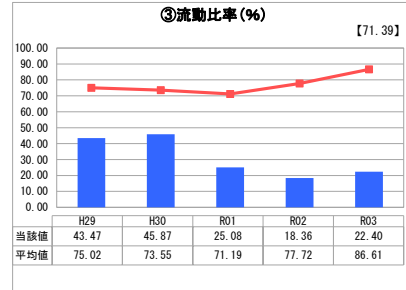
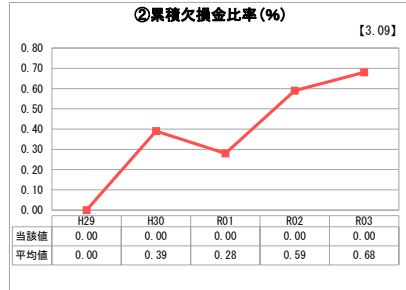
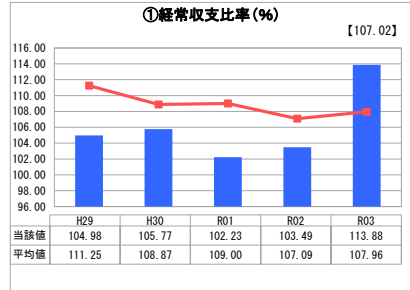
大阪府 門真市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Aa	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	39.29	96.86	65.10	2,420

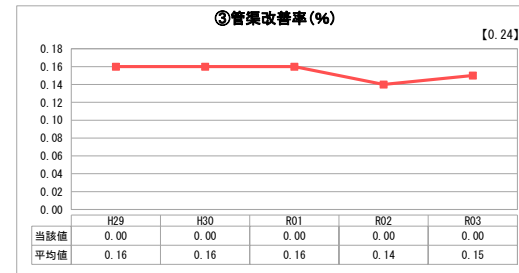
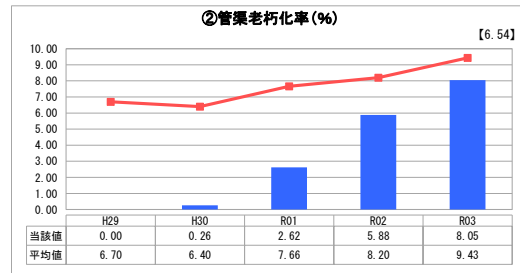
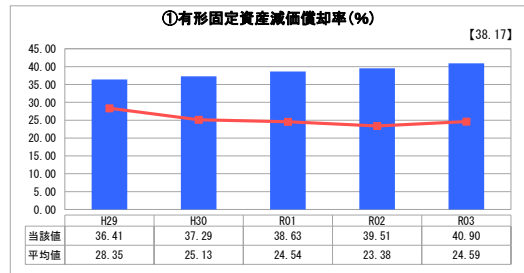
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
119,161	12.30	9,687.89
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
115,015	10.13	11,353.90

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率は令和3年1月の下水道使用料の増額改定の影響により令和2年度より改善され、類似団体と比較しても高い水準となった。
- ② 累積欠損金比率は0%と、累積欠損金は発生していないことがわかる。
- ③ 流動比率は、下水道整備事業への投資費用に対する企業債残高の増加により、翌年度償還額の流動負債が増加していることから、類似団体平均値よりも低い水準である。
- ④ 企業債残高対事業規模比率は、類似団体平均値と比較しても高い水準であり、使用料収入に対し企業債残高が多く、建設投資のための財源として企業債への依存度が高いことがわかる。
- ⑤ 経費回収率は令和3年1月の下水道使用料の増額改定の影響により100%を超え、経費回収率の改善が図れた。
- ⑥ 汚水処理原価は、類似団体平均値と比較しても高い水準であり、汚水処理費用の増加により高くなっている。
- ⑦ 施設利用率は、公共下水道の処理施設を保有していないため、数値の計上はしていない。
- ⑧ 水洗化率は、類似団体平均値と比較してやや高い水準となっており、公共下水道の整備による収益の確保ができていくことがわかる。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率は、類似団体平均値と比較して高い水準にある。
- ② 管渠老朽化率は、類似団体平均値より低い水準であるが、事業開始から52年を経過し、今度は管渠老朽化率の上昇が見込まれる。老朽化対策としては、ストックマネジメント計画に基づき、令和2年度から令和6年度において、公共下水道施設巡視・点検・調査業務を実施しており、今後、令和5年度において修繕・改築計画策定のうえ、令和6年度以降順次修繕・改築を実施する予定である。現時点では、腐食の恐れが高い管渠についても定期的に清掃等を行うなど、適正な維持管理を実施している。

全体総括

経営状況は、下水道使用料の増額改定の影響により、経費回収率が100%を上回り、下水道使用料の適正化が図れた。しかしながら、流動比率は、類似団体平均値より低く、また汚水処理原価は、類似団体平均値より高く、今後も経費削減等に努めていかなければならない。今後、将来にわたり安定的に必要な住民サービスの提供を維持するため、門真市下水道総合地震対策計画に基づく防災対策・減災対策及びストックマネジメント計画に基づく計画的な点検・調査及び改築更新を実施することも必要となる。そのため門真市公共下水道事業経営戦略に基づき、引き続き業務の効率化及び、経営基盤の強化を図る。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。